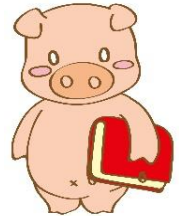




らいぶらりい

倉吉北高校図書館
2018.3.6



いよいよ学年末。1 年を振り返って自分の目標は達成
できましたか？「新学年に進級したら・・・」そんな思いを巡らせながら
過ごしてみるといいですね。

春はもうすぐ・・・

「上巳^{じょうし}の節句」(3 月 3 日桃の節句、雛祭り)

昔、三月上旬の巳の日に災いを人形に移して厄払いをする「上巳節」という風習があった。
それと人形遊び(ひいな遊び)が合わさり、災いを移した紙の人形を川に流すことで身を
清める「流しびな」が誕生する。やがて現在のようなお雛様を飾り、災いを人形に受けても
らい健やかに過ごせるよう、お祝いをするようになった。

「啓蟄^{けいちつ}」(3 月 6 日ごろ)

「啓」はひらく、「蟄」は冬眠している虫という意味。だんだん暖かくなり、草木が芽吹き、
冬眠していた虫たちがはい出てくる時期を表す。



「三寒四温」

春の天気の特徴をとらえて表した言葉。暖かい日が 3 日ほど続き、そうかと思うと凍える
ほど寒い日が 4 日続く・・・このサイクルを繰り返しながら少しずつ気温が上がっていく。

「春分」(3 月 21 日ごろ)

祝日法では「自然をたたえ、生物をいつくしむ日」と定められている。「春分」は太陽が真
東から昇り真西に沈み、昼と夜の長さが同じになる。
この日を中日として前後 7 日間を「春の彼岸」の期間としてお墓参りをしてご先祖様を供養
する習慣があります。

「ぼたもち」と「おはぎ」の違い

「ぼたもち」と「おはぎ」。お彼岸の時期には良く食べますが、その違いわかりますか？実
は「ぼたもち」も「おはぎ」も同じ食べ物です。その時期に咲く「牡丹」と「萩」に見立て
てそう呼び変えます(諸説あり)。

さて、ここまではよく知られている話ですが、夏と冬にも別の呼び名があります。夏は「夜
船」、冬は「北窓」。ぼたもちはお餅のように杵でつかないので、「つき知らず」→「着き知
らず」と、夜の間に到着した船を表し、冬は「月知らず」となり、北の窓からは月が見えな
いため、そう呼ぶようになったそうです。言葉遊びではありますが、四季を楽しもうとする
日本人の心がうかがえますね。

新 着 図 書

「A X」	伊坂幸太郎著
「崩れる脳を抱きしめて」	知念実希人著
「騙し絵の牙」	塩田武士著
「屍人荘の殺人」	今村昌弘著
「盤上の向日葵」	柚月裕子著
「百貨の魔法」	村上早紀著
「星の子」	今村夏子著

「本屋大賞」ノミネート作品が届きました。ぜひ読み比べてみてください。

一心

生きのびるために
生きているのではない
死を避けるために
生きているのではない

そよ風の快さに和む心と
竜巻の禍々しさに怯える心は
別々の心ではない
同じひとつの私の心

死すべきからだのうちに
生き生きと生きる心がひそむ
悲喜こもごもの
生々流転の

「こころ」 谷川俊太郎
朝日新聞出版

進路別ガイダンス

3/12（月）に進路ガイダンスが行われます。進路を決めている人も、悩んでいる人も、まだ考えていない人もこのガイダンスで自分の将来について考えてみましょう。図書館では職業の本をおいています。ぜひこの機会にどんな仕事があるのか、知ってほしいと思います。

公務員系

「消防官になる本」「警察官になる本」
「自衛官になる本」
「公務員になるための完全ガイド」
「ニッポンの刑事たち」

医療系

「理学療法士の日」「作業療法士の日」
「看護師の日」「助産師の日」
「薬剤師の日」「医療看護の資格と仕事」
「臨床工学士のすすめ」
「診療放射線技師の日」

福祉・保育系

「介護福祉士の日」「福祉・介護の資格と仕事」
「ケアマネージャーになるための完全ガイド」
「保育士の日」「保育士・幼稚園の先生」
「保健師の日」

仕事に関わる本

「あしたをつかめ平成若者仕事図鑑」
「働く人の夢」「しごとば」
「日本の給料&職業図鑑」
「13歳からのハローワーク」

☆上記以外もあります☆